

メディカルコーチング・シンポジウム、好評のうち閉幕

～医療分野における組織全体へのコーチング導入に更なる期待～

2014年7月19日、株式会社コーチ・エイ(東京都千代田区、取締役社長:鈴木義幸)が後援する、メディカルコーチング研究会主催の医療シンポジウム「リーダーが病院を変える～変革者たちの軌跡と挑戦～」が開催され、医療従事者や病院幹部・経営者を中心に、200名以上が参加しました。

シンポジウムでは、東北大学大学院教授 出江紳一氏が、東北大学病院で実施された「文部科学省GP事業 高度専門医療チーム活性化システム開発プロジェクト」について報告。Agency for Healthcare Research and Quality(AHRAQ)が定める患者安全文化尺度を用いた解析から、「他者に評価されたコミュニケーションスキルの改善」と「患者安全文化尺度の改善」との相関関係についてのエビデンスが紹介されました。出江教授は今後、本プロジェクトについて更なる解析を進め、2014年9月に開催される第1回日本医療安全学会学術総会にて発表を行う予定です。

また、海老名総合病院や名古屋第二赤十字病院など全3病院、5名の医療従事者が院内改革にむけたコーチングの導入背景やその効果について具体事例を交えて紹介。コーチングが病院改革に与えるインパクトと今後に期待する声が来場者からも多数寄せられました。

講演内容 一部ご紹介

■**東北大学病院** 東北大学大学院医工学研究科 リハビリテーション医工学分野 教授
東北大学大学院医工学研究科 研究科長 出江 紳一 氏
診療技術部副部長 栄養管理室室長 東北大学病院 NST ディレクター 岡本 智子 氏
医療組織へのコーチング導入が及ぼす影響について患者安全文化尺度を用いて解析した結果、個人の成長が病院組織の活性化をもたらし、それらが現場の安全性に対して優位性をもたらすエビデンスについて説明。その他、現場での運用方法のポイントや職場環境の変化について述べ、コーチングによる現場におけるマネジメントの向上、チーム医療の促進について紹介した。

■**JMA 海老名総合病院** 院長 内山 喜一郎 氏、看護副部長 恩田 美紀 氏
コーチング導入後、上司・スタッフ間のコミュニケーションが改善傾向にあり、BSC(バランストスコアカード)への推進力として期待できること、また、スタッフに主体性が生まれ、業務効率が向上した例や、自ら行動するスタッフが増えている事例を紹介。コーチングを通じた今後のチーム医療活性化への期待が語られた。

■**名古屋第二赤十字病院** 院長 石川 清 氏
同院が目指す「最高の病院」には、部門、職種を越えたコミュニケーションの活性化が欠かせないとし、コーチングを全病院に展開。コーチングを学んだ職員の職員満足度が高いことや、医療トラブルが減少したことを紹介。コーチングが医療安全対策の有効な一助になると期待を述べた。

■ **メディカルコーチング研究会とは…**

特定非営利活動法人 日本コーチ協会内のメディカル・チャプターとして 2011 年 4 月に発足。对患者、院内スタッフ間など医療機関の中で発生する様々なコミュニケーションにおいてコーチングを活用する方法について研究・調査し、医療界におけるコミュニケーション向上を目的とした組織。世話人代表は東海大学医学部血液・腫瘍内科教授の安藤潔氏が務める。

(※株式会社コーチ・エイは、後援企業としてメディカルコーチング研究会の運営をサポートしています。)

※本リリースは、文部科学記者会、厚生労働記者会にも配信しています。

本件に関するお問い合わせ

株式会社コーチ・エイ 広報室: 大谷 / 安岡

TEL: 03-3237-8050 FAX: 03-3237-8817

E-Mail: tm_pr@coach.co.jp URL: <http://www.coacha.com/>